

## 第 33 回 下野市男女共同参画推進委員会会議録

日 時	平成 28 年 6 月 21 日 (火) 午前 10 時 00 分～11 時 30 分
場 所	下野市役所 201・202 会議室
出席委員	堀真由美会長、百武亘委員、倉井金男委員、高木智子委員、手塚知恵子委員、楡木久美子委員、井上永子委員、小野寺一彦委員、木村諦四委員
欠席委員	生澤里美委員、平出文子委員、飯野文夫委員、和田康子委員、和氣節子委員
出席者	広瀬寿雄市長、板橋昭二副市長、池澤勤教育長、長 勲総合政策部長、野澤等教育次長、高德吉男産業振興部長、小口英明健康福祉部長、布袋田実市民生活部長、山中庄一総務部長、石島正光建設水道部長、川俣廣美議会事務局長
事務局	上野和憲市民協働推進課長、根本宣明主幹、朝日萌子主事
傍聴人	なし

### ○次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
  - (1) 下野市男女共同参画プラン進捗状況について
  - (2) 下野市配偶者等からの暴力対策基本計画進捗状況について
  - (3) 下野市男女共同参画都市宣言について
  - (4) その他
- 4 閉会

#### (1) 下野市男女共同参画プラン進捗状況について

事務局より資料に基づき説明

委員からの質問・意見

- 1) 65歳以上のDV内容について  
健康福祉部長回答：介護放棄が多い。必要に応じ、警察などあらゆる機関と連携しながら対応を協議している。
- 2) 転倒予防教室について、参加者が多いがなぜB評価なのか。  
健康福祉部長回答：男性参加者が少ないため、男性が参加しやすい周知方法等を検討したが、やはり女性の参加者が多かったためB評価とした。
- 3) 男女共同参画の視点でみた評価がされていないのでは  
事務局回答：前年度の評価により、翌年度の評価が影響されているケースが多い。第二次プランではわかりやすい評価の方法を検討していく。

## (2) 配偶者等からの暴力対策基本計画進捗状況について

事務局より資料に基づき説明

委員からの質問・意見

### 1) 5件の一時保護について

健康福祉部長回答：年間30～40件の相談があり、一時保護をするケースもある。

関係機関との連携を密にし、スピーディーな対応が重要である。

## (3) 下野市男女共同参画都市宣言について

事務局より資料に基づき説明

委員からの質問・意見

### 1) 前文について

「わたしたちは、お互いの人権を尊重し、ともに支えあいながら、下野市のだれもがいきいきと輝く未来に向けて、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。」とする。

### 2) 項目1つめ

「性別にとらわれず、お互いを認め合いながら、笑顔あふれるまちをつくります。」とする。

### 3) 項目2つめ

「家庭・地域・学校・職場などあらゆる場において、思いやるやさしい心でつながるまちをつくります。」とする。

### 4) 項目3つめ

「一人ひとりが、個性と能力を活かして、夢と希望にあふれるまちをつくります。」とする。

### 5) 次回までの確認事項

- ・「わたしたち」「わたくしたち」どちらにするか
- ・宣言文へのふりがなは必要か
- ・項目前に「わたしたちは」を入れるかどうか

## (4) その他

事務局より、次回会議について連絡